

夢へのかけはし



ためらわずに挑戦を 勇気を持って一步を踏み出す

全国各地から150名の小・中学生が参加し、文部科学省において「全国いじめ問題子供サミット」が開催されました。『いじめを生まない環境づくり』をテーマに、取組発表(ポスターセッション)、グループ協議、全体交流などが行われ、熊本県の代表として参加した3名は、堂々と山鹿中学校での取組についての報告や積極的なグループ協議を行いました。

登壇し自らの体験を語った芸人のなだぎ武さんは、「大人が同じ目線で対応し、受け止めてくれたことで乗り越えることができた」「自分の好きなことに対して、自信を持ってほしい」「人と時間を過ごすこと、話しをすることが大切であり、人と人との積み重ねが人をつくっていく」「とにかく勇気を持って第一歩を踏み出してほしい」と語りかけられました。

以下に参加した生徒の感想の中から抜粋で掲載しています。「周りの人を大切にする」ことについて考え、理解し、つなぐ取組につなげていきます。

どこの学校もいじめ問題に真剣に取り組んでいた

意見箱の設置など主体的な活動に転換していた

緊張も大きかったが、他県の取組が参考になった

環境と経験で変わる・・・人権、いじめと関連付けて考えることができた

伝えたいこと、考えてきたことをしっかり伝えることができた

私たちの取組に共感し褒めてもらい嬉しかった

友達・仲間とつながる様々な取組を聞くことができた

コミュニケーションが大事、やはりあいさつが基本

一人だけ頑張るのではなく、全員が頑張る学校に

自分事として捉え、まず自分が動くことが重要、積極的に取り組む

いじめをなくすためには、お互いを認めること、認め合うことが大切

多様性の社会、違いを知り、相手を理解することが大切